

【数学】

出題のねらい

数学Ⅰ・Aの基礎的内容の習得度合いおよびその応用力をみることで、入学後の数的処理能力や分析力に適応できる数理能力を測定することがねらいである。具体的には、基礎的な計算能力、確率を事象の理解に活用する能力、定理を図形の性質の理解に活用にする能力、関数や統計の知識からデータについて考察する能力などを総合的にみることを意図して出題した。

評価方法

速く正確に計算する能力、定理や公式などの知識を数的処理や分析力に応用する能力、論理的な思考力などを総合して評価する。